# 令和６年度 ＹＥＧ大賞エントリーシート

## **エントリーについて**

* 道府県連ごとに最大エントリー数を設けています。最大エントリー数を超えた場合は、道府県連ごとに事業を推薦していただきます。推薦事業決定方法は、道府県連ごとに異なります。属する道府県連会長にご確認ください。
* 道府県連推薦事業として選出されましたら、県連会長→代表理事を通じて日本ＹＥＧ広報☆ブランディング委員会に提出されます。
* 広報☆ブランディング委員会へご提出いただきましたエントリーシートに入力された内容をもとに審査されます。

以下の入力欄にご入力の上、道府県連会長メールアドレスへお送りください。

※入力欄の行数は増やしてかまいません。

■送付される内容に、「著作権」「肖像権」「商標権」の侵害など、法令違反、コンプライアンス違反になる情報を含んでいませんか？該当する項目に○をつけてください。（必須）

含んでいません　　　含んでいます

※含んでいる場合は、エントリーできません。

■単会名（必須）

|  |
| --- |
|  |

■担当者名（必須）

|  |
| --- |
|  |

■担当者メールアドレス（必須）

|  |
| --- |
|  |

■担当者電話番号（必須）

|  |
| --- |
|  |

■主催者名（必須）

|  |
| --- |
|  |

■エントリーする事業ジャンルに○をつけてください。（必須）
※ジャンルによって審査基準が異なります。
※審査基準の説明はこのシートの下部に記載しています。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ジャンル | 自己研鑽 | ビジネス・交流 | 地域貢献 | 政策提言（活動含む） |
| 審査基準 | 1. 新規性（イノベーション）
2. 創意工夫
3. 時代との適合性
4. 自己研鑽・組織力強化（経営者としての資質向上）
 | 1. 新規性（イノベーション）
2. 創意工夫
3. 交流が生まれる効率性
4. 交流から生まれるつながりの強さ
 | 1. 新規性（イノベーション）
2. 創意工夫
3. 地域貢献性（地域課題解決、地域の特徴や経済特性などの活用）
4. 地域におけるＹＥＧブランディング力
 | 1. 新規性（イノベーション）
2. 創意工夫
3. 他団体との連携
4. 成果・実現
 |

■事業名称（必須）

|  |
| --- |
|  |

■開催日時（必須）

|  |
| --- |
|  |

■開催場所（必須）

|  |
| --- |
|  |

■開催目的・内容（必須）＊詳細をご記入ください

|  |
| --- |
|  |

■詳細の書いてあるＵＲＬ

|  |
| --- |
|  |

■事業の内容がわかる画像（必須）※何枚でも構いません。元画像を添付ファイルとして、エントリーシートと共にメールに添付してください。

|  |
| --- |
|  |

■単会会員数（事業開催時）（必須）

|  |
| --- |
|  |

■事業参加会員数（必須）

|  |
| --- |
|  |

■参加率（必須）

|  |
| --- |
|  |

■備考

|  |
| --- |
|  |

※審査基準補足説明

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **共通項目** | ①新規性（イノベーション）新しい視点・アプローチ。革新的なアイデア。新たな価値を生み出している。 | ②創意工夫独自の発想や工夫を凝らしている。調査・研究を追及している。 |
| **自己研鑽** | ③時代との適合性現代の社会や産業のニーズへの適合。技術やトレンドの変化への対応。最新の知識やスキルを取り入れている。 | ④自己研鑽・組織力強化（経営者としての資質向上）会員の経営者としての資質向上ができている。リーダーシップや組織力の向上、個人やチームの成長を促進。 |
| **ビジネス・交流** | ③交流が生まれる効率性参加者間での有意義なコミュニケーションや関係構築が効率的に多く生まれている。 | ④交流から生まれるつながりの強さ参加者間で信頼や共感を築いている。将来のビジネスや協業への可能性。 |
| **地域貢献** | ③地域貢献性（地域課題解決、地域の特徴や経済特性などの活用）地域の課題を理解し解決につながっている。地域の特性や魅力・価値を活かしている。 | ④地域におけるＹＥＧブランディング力ＹＥＧのもつ価値（特徴）を活かしている。ＹＥＧの存在感や存在価値を地域に示している。ＹＥＧの認知度を向上させている。 |
| **政策提言活動** | ③他団体との連携他団体とそれぞれの得意を掛け合わせ、効果的に連携・協力している。実現や成果を最大化するためのパートナーシップ。 | ④成果・実現* 提言の準備段階：データや協議、合意形成などを提言の基盤や方針に生かしている。
* 提言後の政策・施策：提言された政策やアイデアが採用され、社会的・経済的効果が生まれている。
 |